

コンクリート圧縮試験機

α（アルファ）

供試体：φ50-100L 用

簡易型圧縮試験機

取扱説明書



目次

仕様	2
各部の名称	2
付属品	2
使用方法	3

仕様

型式	最小メモリ	測定範囲	対応供試体	ホース長さ	付属品
CCS-80	2 kN	0～80 kN	Φ50×100 mm	5 m	アンボンド キャッピング

各部の名称

■試験機本体



付属品

■標準セット品



使用方法

1. 試験機本体と油圧ポンプを図のように油圧ホースで接続します
次にポンプの**空気弁**を緩めます

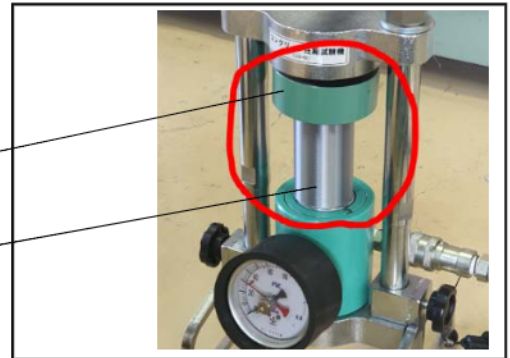


2. 供試体の底面（平な部分）を下にして、上面にアンボンドキャッピングを乗せ、ジャッキのセンターにセットします

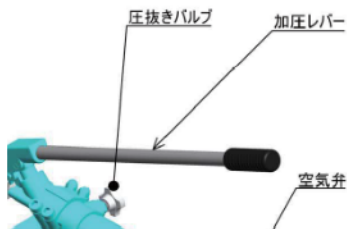


アンボンドキャッピング

供試体



3. 試験前に**保護メガネ**を装着し、遺留芯をツマミで0に戻し、油圧ポンプの圧抜きバルブを締めて油圧ジャッキをゆっくり载荷し供試体を破壊します。



遺留針（赤針）



4. 供試体が破壊されたら、破壊時の値が圧力計の遺留針(赤針)にて確認し、試験完了になります

供試体が破壊されたところの数値が遺留針付きなので破壊後確認可能です

遺留針（赤針）



アンボンドキャッピングとは

アンボンドキャッピング用試験器は、従来行われてきたセメントペーストキャッピング方法で研磨方法と違いレイタンス処理などをせずに、すぐに供試体を圧縮強度試験にかけることが出来る上、なおかつ圧縮強度試験に関して従来と変わらない結果を得られることから、試験作業省力化に大きく貢献します。